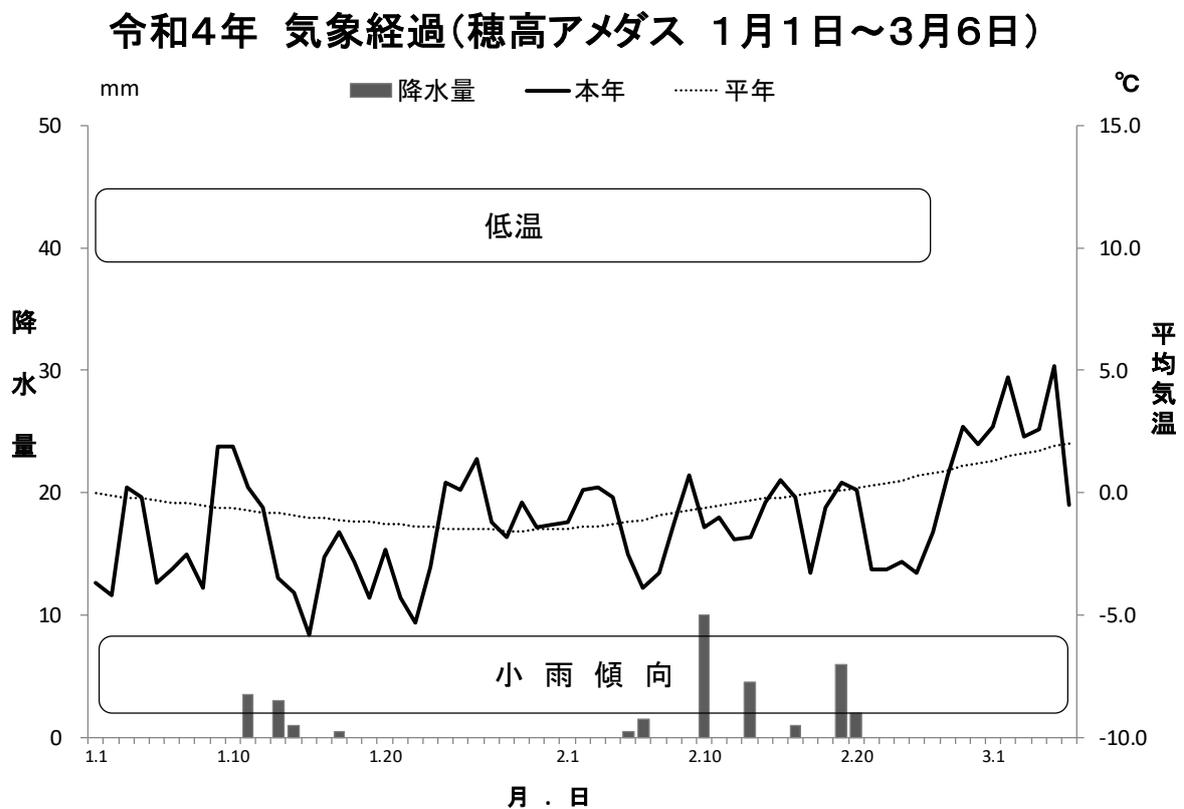


令和4年 作物技術情報第3号

(麦の1回目の追肥作業と、水稻の浸種作業の注意事項について)



1 気象状況

- ・ 2月末まで低温傾向でしたが、3月以降は高温傾向が予想されています。
- ・ 断続的に降雨・降雪があるものの、降水量は少ない状況です。

2 現在の麦の生育状況と一回目追肥の注意事項

- ・ 低温傾向が続いていたため、茎数の増加は緩やかでしたが、徐々に生育が進み、葉の色も戻り始めています。3月以降は高温傾向が予想されていますので、麦の生育は急速に回復すると思われます。
- ・ すでに追肥作業が始まっていますが、追肥時には、再度生育状況を確認していただき、過剰気味の圃場では追肥量をやや控える、追肥時期をやや遅らせる等の生育にあった追肥をお願いいたします（追肥量や追肥時期の目安は技術情報2号をご参考下さい）。

3 水稻の浸種作業について

- ・ 水稻の浸種作業の時期が近づいています。浸種作業は育苗の重要なポイントです。基本事項を守り、育苗に向けた種子の準備を進めるようご指導ください。別添「水稻種子の取り扱い」もご参考下さい。
- ・ ここ数年、大粒品種（特に酒米）で、発芽不良や出芽ムラが発生する事例が報告されていますので、浸種～催芽作業にあたっては特にご注意ください。
- ・ 前年と同じに機械のセッティングをしたにも関わらず、催芽ムラや発芽不良といったトラブルが発生する事があります。

同じセッティングをしたとしても、催芽機や出芽機が正常に動作している保証はありませんので、シーズンの開始時には必ず試し運転をして、温度の誤差がないかを必ずチェックしてから、本作業に入るようお願いいたします。

シーズン中は温度計を設置して毎日記録することもトラブル防止につながりますのでご検討ください。